金沢大学
KANAZAWA UNIVERSITY

企画:金沢大学地域連携推進センター 文部科学省 地(知)の拠点
金沢大学サテライト・プラザミニ講演

大学連携と世界農業遺産
能登の未来可能性

２０１１年６月，国連食糧農業機関（ＦＡＯ）によって，世界農業遺産（ＧＩＡＨＳ）に「能登の里山里海」が国内で初めて，佐渡とともに認定されました。あれから４年，能登では世界農業遺産をテーマに，農林漁業や伝統文化をめぐって多様な動きが広がっています。一方で，過疎・高齢化も大きくのしかかっています。新たな動きと課題が交錯する中，そこから見えてくる能登の未来可能性を探ります。

©石川県観光連盟

講師 うのふみお
宇野文夫
金沢大学地域連携推進センター特任教授

1954年石川県生まれ，慶應義塾大学卒。新聞記者，テレビ局プロデューサーを経て，2005年に金沢大学地域連携コーディネーターに採用。2007年から文部科学省の地域再生人材創出事業である「能登里山マイスター養成プログラム」の企画運営を担当。能登の里山里海をテーマとしたプロジェクトを手掛ける。2011年から特任教授。
著書に『能登舳倉の海びと』(1986，北國新聞社 執筆分担)，『参加と協働のデザイン』(2009，学芸出版社 共著)，『里山復権～能登からの発信』(2010，創森社 共著)など。

日時
平成27年6月7日（日）
午後2時~3時30分

会場
すず市民交流センター3階
（珠洲市役所向かい）

◆お問合せ◆
金沢大学珠洲サテライト（金沢大学能登学舎）
TEL 0768-88-2568　FAX 0768-88-2899
受付時間　9:00～17:00　（ただし土日祝日 夏季休業 年末年始は除く）
E-mail　coc@adm.kanazawa-u.ac.jp　URL http://open-learning.crc.kanazawa-u.ac.jp

LIVE この講座は金沢大学サテライト・プラザ，小松サテライトへの配信講座です。

無料・申込不要
定員20名